

# 兵庫県水産技術センターだより

漁場環境情報（速報値）SG-GJ-0106号

2019.6.6発行

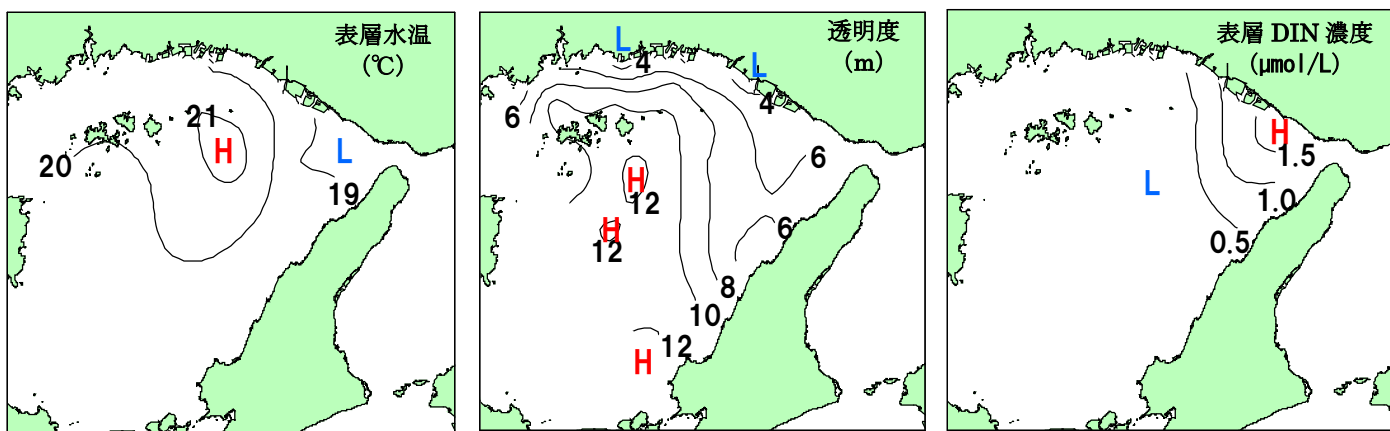
【概況（2019年6月3、4日の調査結果）】

播磨灘の水温は平年に比べ、表層では+1.3℃、10m層で+1.5℃、底層で+1.8℃となっており、表層で「かなり高め」、10m層及び底層で「はなはだ高め」の値です。塩分は表層及び10m層で「やや高め」、底層で「平年並み」の値を示しています。透明度は「平年並み」の値となっています。表層の栄養塩濃度は、窒素は「やや低め」、リンは「平年並み」、ケイ酸は「はなはだ高め」の値です。

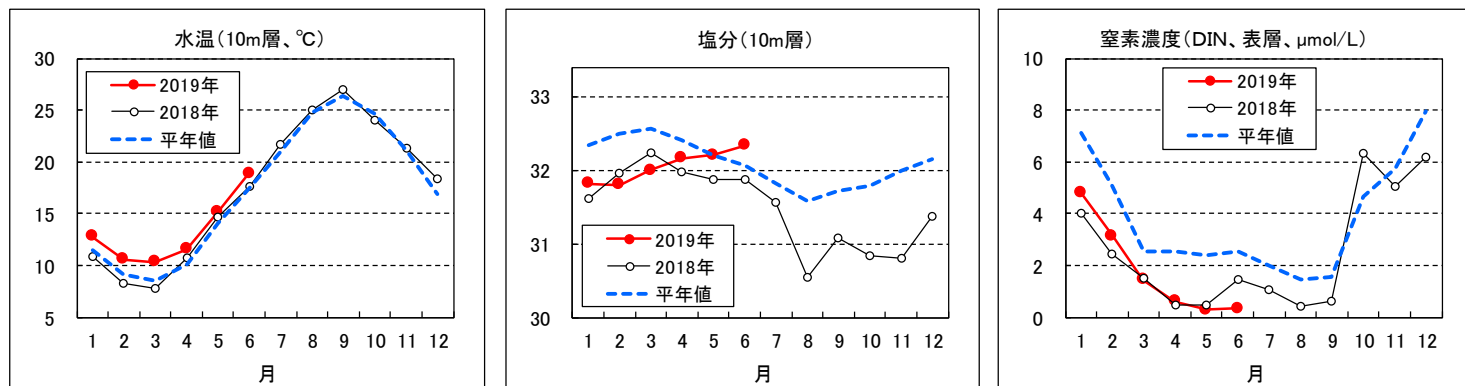
降水量が少なかったこともあり、水温は高めで推移しています。これからの時期は、港湾内や底層の環境が悪くなりやすいので、気をつけて下さい。

播磨灘北部の沿岸海域では、キートセロス、スケルトネマ、レプトシリンダラス等の小型珪藻がやや多く発生しています。沖合部ではプランクトンは全般に低密度です。

2019年5月30日に大阪管区気象台が発表した近畿地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は高い確率が70%、降水量は少ない確率が40%、日照時間は多い確率が40%の見込みで、今後も表層水温は高めで推移すると考えられます。



播磨灘の表層水温、透明度及び溶存態無機窒素（DIN）濃度の分布（H：高い、L：低い）



播磨灘15定点における主要項目の平均値及び平年値（19定点のうち、北部沿岸の4定点を除く）

年月	2018	2019
項目	6月	1月
水温	7月	2月
°C	8月	3月
観測値	9月	4月
平年値	10月	5月
塩分	11月	6月
観測値	12月	
平年値		
透明度		
m		
観測値		
平年値		
窒素		
µmol/L		
観測値		
平年値		
リン酸		
µmol/L		
観測値		
平年値		
ケイ酸		
µg/L		
観測値		
平年値		
降水量		
観測値		
平年値		

注）何れの項目も15定点の平均値。水温、塩分は10m層、他の項目は表層水の値。各項目の平年値は1981～2010年の平均値。

降水量（姫路）の平年値は1981～2010年の平均値（気象庁データから）次号は2019年7月4日頃発行の予定です。

お問い合わせ先 兵庫県立農林水産技術総合センター 水産技術センター（担当：水産環境部・高倉良太、宮原一隆）

Tel：078-941-8601 Fax：078-941-8604 E-mail：Nouringe\_suisan@pref.hyogo.lg.jp Homepage：http://www.hyogo-suigi.jp/